

# 開一小だより

第409号

令和3年2月26日発行  
練馬区立開進第一小学校  
校長 石神 徹

## 人の尊厳が守られる学校

校長 石神 徹

『仲間はずれにする、避ける、机を離す、陰口を言う、悪口を言う、物を隠す、嘲笑う・・・また、このような場面を止めない、いや加担する・・・“いじめ”の状況です。全国の小・中・高校等のいじめ認知件数が22万件超、過去最高になったことが、この秋、報道されました。(中略)他人事ではありません。冒頭の記載は、本校でとらえた悲しい状況なのです。』これは、平成28年12月発行の学校だよりの私の巻頭言からです。

いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向け、毎年定期的にアンケートを実施しています。項目は、冷やかしの悪口/無視・仲間外し/ぶつかる・叩く・蹴る/お金や物のたかり/物かくし・壊し/恥ずかしいことや危険なことの強要/SNSでの悪口といった七つの態様です。この2月にも実施しました。感染対応下にあった今年度は6月から狭い教室で、泣いて、笑って、けんかして、広い校庭で、すべて、ころんで、どろだらけになって、心の安定を図り、しなやかにして、たくましい心を培うべく、600人超の子どもたちは学校生活をつくってきました。きっと、いじめの項目からは無縁のはず・・・

とは当然いきません。アンケートに現われたものは多くはありませんが、子どものぎりぎりのSOSでした。冷やかしの悪口からかき及び同調に加えて、叩くなど。意地悪なことを言ったり、したりした側の言い分は、友だちのふざけた行動が気持ち悪く、注意しても嫌気がさしたため。教師はそういう場面があったら、いじめをしていいの？道徳や学級活動で何を学んできたのか？鋭く問います。そういう人は他にもいる。誰しも残念なところも持っている。性格も含めて友だちであるのでは？と考えさせます。この後、言いたいことは正面からきちんと伝える、いじめではなく、ということに自らたどり着いたことでしょう。ともに生きるために、教師は人の抱える弱い心をえぐり出し、子ども自ら進む道を見つめられるよう指導し、支えます。

アンケートは氷山の一角。とてもでないけれど書けない子どもの息遣いも教師は感じています。あの巻頭言から4年。いじめ皆無の学校とは誇れません。人の尊厳が守られる学校づくりにひたむきである旗を降ろすことはありません。

心理学の一考察を紐解くと、いじめ発生及び深刻化を大きく三つの要因としています。第一に加害児童の抱えるストレス、第二に子ども全般が日常的に欲望がかなう状況による自己統制の弱さ・規範意識の低さ、第三に日本の学校に特に強い固定的学級集団の凝集性・一斉性・同調圧力です。凝集性や一斉性など日本の学校の時に長所とされる場所に負の側面もあります。また、被害児童の度重なる否定経験による否定感情、加害児童の罪悪感情、自己防衛のための傍観児童の無力感情・自責の念などすべてに自己評価を下げる事実があります。被害児童と加害児童が入れ替わることもあります。グループリーダーたる教師の役割が注目されます。励まし合い、認め合って民主的な行動によって、個の不満が低く抑えられ、攻撃行動が減少したとの研究報告があります。“やすらぎ”と“はりあい”の学級が求められるのです。

学校に子どもを送り出す家庭にも支えていただきます。弱い者を蔑んで心の安定を図るといふ、いわゆるマウントを取ることに頼らないようでありたいです。我が子の好きなこと、得意なことを大切にしてください。我が子はオンリーワンです。人と比べられない自分がいて、家庭は安心な居場所となります。子どもだけでなく、保護者もともに成長していくのではないのでしょうか。教師も今に留まることなく、成長していかなければならないと思っています。

アンケートには、今はむしろ嫌なことは言われずに、うれしく過ごしている、との回答がありました。このような手応えを広げていかねばなりません。『【1年方面別下校】校庭に広がって方面別に並びます。立つ姿から年長として幼稚園・保育園をリードしてきた頼もしさがうかがえます。』(分散登校3日目の6月3日学校ホームページ記事)のころから、黄色の交通安全カバーがいぶし銀の風格のように思えるほど、今、たくましく元気いっぱいのおいさつで1年生は登校しています。こんな子どもたちに応えるべく、教師の職責に改めて思い致します。

## 3月の生活目標

### 《一年間のしめくくりをしよう》

生活指導主任 西留 安久

令和2年度も締めくくりの月となりました。今年度は先ず2カ月におよぶ休校期間があり学校開始が6月からになったことなど、とにかく感染症に大きく影響された年度でした。前例がないことばかりが続き、不安やストレスがたまる我慢の1年だったと言えます。

学校が常に抱えている感染リスクを少しでも低くするために、学校は新しい学校生活様式を模索し続けました。現在の社会情勢下で集団生活を送るためには、本当に様々なことに気を付けなければなりません。それらの意味を考えさせ、自らを律して、進んで行動していける子に育てていきたいと考えております。ご協力の程、よろしくお祈りします。

## 3月の行事予定

(3月5日版)宣言の再延長により、緑書部分が変更になります。早期解除でも下記により行います。宣言の有無にかかわらず、区ガイドラインに基づき卒業式を実施します。

1日(月)	安全指導
2日(火)	音楽朝会(動画視聴)
8日(月)	避難訓練 委員会話し合い(最終回)⇒中止 全学年5時間授業
9日(火)	たてわり班遊び(最終回)⇒23日(火)へ延期 6年保護者会⇒中止
12日(金)	クラブ活動(最終回)⇒中止 4～6年6時間授業
13日(土)	土曜授業日(参観なし) 火曜時間割
16日(火)	児童集会(Zoom) 5・6年お別れ球技大会(たてわり学級ごと)
18日(木)	短縮授業開始 1・2年4時間/3～6年5時間授業
19日(金)	1・2年4時間/3～6年5時間授業
20日(土)	春分の日
22日(月)	1・2年4時間/3～6年5時間授業
23日(火)	1・2年4時間/3～6年5時間授業 たてわり班遊び(最終回) 給食終
24日(水)	修了式(Zoom)1～5年2時間授業 6年卒業式予行
25日(木)	第139回卒業式
26日(金)	春季休業日開始
4月	
5日(月)	新6年前日準備登校
6日(火)	始業式 入学式
※10日(土)	は第二土曜ですが、授業日ではありません。

### ～電話連絡網の取り扱いについて～

電話連絡網は、各ご家庭での適切な廃棄をお願いいたします。これまで、年度末に学校で回収をしていましたが、6月まで使用するPTAの委員会があり、回収する際の混乱を防ぐためです。ご理解とご協力をお願いいたします。

